

2022年3月12日

東海学生テニス連盟加盟校各位

東海学生テニス連盟  
幹事長 渡辺駿太

### 令和3年度第1回部長監督会議 回答

#### 1. 部長・監督会議について

・部長・監督会議では連盟全体についての議論をするため、全大学に参加してもらうべきではないか

全大学の参加を強制するかについては、現在検討中ですが、参加している大学が少ないのは事実です。そのため、さらに多くの大学監督・部長に関心を持ってもらえるようメール配信での告知などの対策をしていきます。

そのため、現在、各大学の主将主務の方に監督・部長（学生以外）の連絡先を送るようお願いしており、東海学生テニス加盟校全体の監督への連絡に向けての準備を進めております。連絡先をお送りいただいた各大学の監督・部長様から順次メール配信を始めております。

・年に一回ではなく、定期的に監督会議を開いてほしい。

対面での定期的な開催が難しいため、現在、メールでの質疑応答や意見交換などを考えております。会議の必要性や時期については、一度各大学にアンケートを取り、決定いたします。

#### 2. コール変更について

・コール変更に補講も対象に加えてほしい。

コール変更の対象に補講も追加いたしました。

#### 3. リーグのペナルティについて

・ベンチコーチと全体のペナルティが別になっているのは、なぜか

今年から、全体ペナルティで統一する方向で準備を進めております。

#### 4. リーグの審判に関して

新型コロナウイルスの拡大状況にもよりますが、今年は、2部以下の大学から審判を要請する方針で進めております。そのため、今年は以前行っていた審判講習会を行う予定です。どのような形式で行うかは現在検討中です。

## 5.新入生評価基準について

・ジャパンオープンや大きな国際大会、ITFを回っている選手についても考慮すべきではないか

幹事会にて協議した結果、数多くある大会すべてに明確な基準を設けるのは、困難であるという判断に至りました。そのため、一度そのような選手の情報を送ってもらい、学連でどのような評価をするか協議いたします。その後、メールにてその評価について各大学と意見交換を行おうと思っております。

## 6. 会場提供について

・大会に会場を提供した場合、会場提供側に不利益がないような対策を考えてほしい。

会場提供大学の朝のプラクティスを、朝8時までとします。また、会場の分散に関しましても、できる限り多くの大学に声をかけ、一つの大学に負担が、集中しないよう会場確保を行っていきます。

## 7. 日程について

・春大会、夏大会、インカレの大会の間隔をもう少し開けてほしい

夏大会に関しては、四日市テニスセンターを借りる以上、会場を借りられる日程が限られており、日程をずらすことは難しい状況にあります。また、インカレの裏で行うというのも、インカレが四日市で行われることから、東海学連からも人員を提供しており、その中で大会を行うというのも困難であるため、日程をずらすことは、今年度は行いません。

## 8. 選手の安全確保

・完了試合数をリーグの順位決定の要素にあるのは、選手ことを考えると危険ではないか

このことについて、幹事会で協議した結果、メリットより危険性などのデメリットの方が大きく、今年度は完了試合数を順位決定の要素からなくすという方針で進めております。

・会場で、事故が起きた場合、責任はどこに行くのか

現在、各大学の監督・部長の連絡先の収集を行っております。学連で、各大学の監督・部長を把握するとともに、これをきっかけに各大学部員の方に、曖昧になっている部長・監督を確認してもらいます。

## 9.冊子について

### ・年度初めに、要項・規約をまとめたものが欲しい

本来なら2月初めの主将主務会議の時期に、冊子を渡しておりますが、今年度は、リーグ規約の修正などの影響により、冊子作成が遅れております。出来次第お渡しできるようにいたします。また、選手規約についてもHPに掲載いたしますので、ご迷惑をおかけいたしますが今しばらくお待ちください。

## 10. 東海学生テニス人口減少について

### ・東海学生テニス連盟から、何か行動を起こすことはできないか。

実業団・大学・高校対抗テニス大会など大学生以外との試合の機会を設けております。その他の働きかけについては、検討中です。

## 11. ルールが守られていないときの対応について

### ・ルール、規約、コロナ対策などHPに掲載されているものが守られていない場合に学連側からペナルティを出すなど対処できないのか。

ルールの関しては、全体の統一ペナルティを課せるようにしていこうと思います。その他規約やコロナ対策関しましては、一年を通して有効なペナルティを設定するという方針で進めております。

## 12. 連絡手段について

### ・学生だけでは決められないことについては、HPやメールでの配信を行ってほしい

1.でも述べたように各大学の監督・部長の連絡先を集めており、順次メール配信を始めております。

## 13.大会資料について

### ・ドローができた時点で会場も割り振られるようにしてほしい。借用書などは最低でも3週間前に準備してほしい。

出来る限り早めに公開できるよう、各大会レフェリー・ディレクターとともに努めてまいります。借用書は3週間前までに、ドロー・日程表は遅くとも1週間前ということ徹底してまいります。

以上